

学校法人ラフ&ピース 沖縄ラフ&ピース専門学校 学校関係者評価委員会 集約版

【2021年7月6日実施】

2020年度自己点検自己評価(2020年4月1から2021年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりのご意見	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1			
1 教育理念・目的・育成人物像	1-1 理念・目的・育成人物像は定められているか	3		<p>沖縄ラフ&ピース専門学校は、吉本興業によって設立された学校法人ラフ&ピースに属し、沖縄の地で「世界レベルのエンターテインメントを支える基盤を醸成し、一大エンターテインメント産業群の形成を目指し、本校の取り組みによって本格的な世界レベルのエンターテインメントを学び育成される人材により、クールジャパン推進等での日本全体の文化振興と経済的効果の循環に貢献する」ことを理念としています。</p> <p>本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、エンターテインメント及びこれに関連する業界での業務に従事しようとする者に対し、高等教育の基礎の上に必要な知識及び技能を授け、併せて心身を鍛錬し、社会に有用な人材を養成することを目的とします。</p> <p>真に世界で活躍できる最先端の技術と、応用性の高い人間力を備えた人材を輩出し、「技術だけでなく、それを使い社会の第一線で長く活躍できる人物」の育成を目指します。</p> <p>当校の特色は、学生にエンターテインメントの基礎と応用を体得させ、エンターテインメントの表現や創作をより実現性をもった作品へと落とし込むための能力を身につけさせるための組織的な教育の実施を行います。具体的には、エンターテインメントの総合的理解と作品を構築していくための基礎を形成する基礎科目、各エンターテインメントの流れを実践的に学ぶ実践科目、エンターテインメントを構築する方法及び新たな企画やコンセプトを実現可能にする方法の習得を行う展開科目(進級、卒業制作など)、企画やコンセプトを具体的に制作して他者に見せることのできる「エンターテインメント作品」に落とし込む実践的なトレーニングを行う演習(各種プロジェクト)を実施します。</p> <p>当校は、将来の構想として、「エンターテインメント」を「仕事」として捉え、学歴や能力、ハンディキャップに関係なく、適性に応じて「居場所」を見つけることができる多様で裾野の広い「職業」であると考え、地元の子供たちに「夢」と「生きるための技能」と「働く場」を与え、それを沖縄全島に拡大し、さらには日本全国やアジア全域、全世界の若者や子どもたちが「好きなことを仕事にする」という夢を見つけ育む「場」に育てて参ります。</p>	<p>吉本興業が設立した、沖縄ラフ&ピース専門学校は、12回を超える開催回数を持つ「島ぜんぶでおーきな祭・沖縄国際映画祭」での活動を通じ、沖縄県が個性豊かで多様性に富む歴史と芸能・文化という貴重な産業資源を有していること、加えて、アジア各国と至近の距離という地理的アドバンテージを持つという点で、アジア全域のエンターテインメントにおける人材の育成・交流のハブとして優れてふさわしい場所だと考えております。</p> <p>このような沖縄で、エンターテインメントの高度な人材が多数育成、輩出されることで、これまでになかったエンターテインメント分野の仕事と産業の創出に大きく寄与でき、撮影・照明・音響、演出、編集等に代表されるバックヤード関連産業を支える人材ならびに、マンガ家・イラストレーター・アニメーション3DCGクリエイター等の輩出にも繋げております。</p>	3	2	1	
	1-2 学校の特徴は何か								
	1-3 学校の将来構想を抱いているか								
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	3		<p>吉本興業グループは、お笑いをはじめ、様々なライブエンターテインメントを発信してきました。さらに、公演を通じて培った海外ショービジネスのネットワークをベースに日本でそれらのノウハウやメソッドを体系化し、様々なスクール事業を展開しています。その中で設立した学校法人ラフ&ピースの運営方針は、いろんな人がエンターテインメントの中で「居場所」を見つけ将来生きていく場所として、人を楽しませるための技術やパフォーマンスなどを、楽しみながら習得できる環境であること。また、常に面白いことを求め、チャレンジ精神を忘れず、吉本興業のプロジェクトと連携しながら最先端のエンターテインメントを学習プログラムとして取り入れ、日本中、世界中、そして沖縄で、本校でしかできない貴重な経験を積み上げられる環境づくりを目指して運営しています。</p> <p>事業計画については、毎年事業計画書を作成し、理事会、評議会の決議を受け、承認を得ることになっています。また、事業計画は全教職員で周知徹底し、学校の方針や方向性、組織、各部署における取組や職務分掌、各種会議、および研修等々について明確に示されています。</p> <p>運営組織は、校長を中心とした教務部、事務局が、企画立案したものを意思決定し、それぞれの決済レベルにより、理事会、評議会による承認をはじめ、効率的な意思決定が行われています。</p> <p>人事や資金での処遇に関する制度は、規定を設け、その内容に沿って運営されています。</p> <p>情報システム化については、専任のシステム担当を置き、学校運営に必要なとされる情報の管理について独自のシステムを運用しながら、効率化を図っています。</p>	<p>本校では、現場の感覚やプロとしての実体験ができる場を創出するということが必要だと考え、プロの指導のもと作品を制作、実演する産学連携の実践カリキュラムや、「島ぜんぶでおーきな祭・沖縄国際映画祭」「京都国際映画祭」をはじめとする吉本興業の事業プラットフォームとの強力な運動、さらに優秀な学生は在学中からでもデビューできる機会の提供など、学んだ先のアウトプットも明確にしたスクールとなっています。</p> <p>このような吉本興業の人材育成システムと連動し、常に連携を取りながら人材の成長を促し把握できるように共有する体制を設けるようにしています。これにより、世界で活躍できる技術力と、応用性の高い人間力を備えた人材を輩出し、「技術だけでなく、それを使い社会の第一線で長く活躍できる人材」の育成を目指します。</p> <p>学校の運営については、設立者でもある吉本興業グループとの連携を重視しながら、すべての情報を共有し、吉本興業のグループの教育事業の一環として、運営方針、事業計画、意思決定、人事、資金について、情報システムにおいても、週報ベースでの報告、月次の報告、年次の報告を常に行っております。</p>	3	2	1	
	2-5 事業計画は定められているか								
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか								
	2-7 人事や資金での処遇に関する制度は整備されているか								
	2-8 意思決定システムは確立されているか								
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか									

大項目	点検・評価項目	自己評価		点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価		学校関係者評価委員よりのご意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1		
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3		<p>パフォーマンス育成学科とクリエイター育成学科それぞれで、高い専門性を持った世界に通じるプロフェッショナルな人材育成を目標とした段階式プログラムを实践。意欲的な学生には積極的に学科をまたいで受講できる機会を提供。各業界において現役で活躍中の一流プロフェッショナルを講師を招聘することで、常に業界ニーズに見合う人材育成と、それに則したカリキュラムを編成実施。さらに、現場の感覚を体験することが必須だと考え、実際に観客を募集し、プロによる指導のもと公演やイベントを制作、実演する産学連携の実践カリキュラムや、トップレベルの制作会社と連携した実務作品制作や、企業・撮影現場などでのインターンシップの機会を提供します。真に世界で活躍できる最先端の技術と応用性の高い人間力を備えた人材を輩出し、「技術だけでなく、それを使い社会の第一線で長く活躍できる人材」の育成を目指します。</p> <p>2年間の修業年限に応じ、未経験者からでも修学できるように、教育到達レベルを以下に定めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① エンターテインメント業界の基礎知識を学習する ② エンターテインメント制作・実演の基礎知識・技術を学習する ③ 表現を豊かにするための感情開放・技術の習得する ④ エンターテインメントや芸術に対する固定観念の柔軟化 ⑤ 学習技術を機材やソフトを活用し実践的に学習する ⑥ 企画・プレゼンテーション能力を身につける ⑦ 制作・実践能力を身につける ⑧ パフォーマー・アーティスト・クリエイターとして表現力を身につける ⑨ デビュー・就職先を絞り込み、社会的対応力を身につける <p>カリキュラムは、各学科で履修システムを策定し、体系的に編成されています。自身の専攻分野を学ぶだけでなく、他の分野を学習することを通して自身の専攻分野に役立てたり、また、他の分野との共同作業を行う上で必要なコミュニケーションの能力を養うために、複数の専門分野について学ぶ「クロスオーバーカリキュラム」を採用しています。そして、各学期の開始前には履修アンケートをもとにガイダンスやカウンセリングを行い、学生と教務職員、学科担任とが協議しながら将来の方向性に合わせたカリキュラムを構築していく「インフォームドコンセント」の考え方で2年間のプログラムを組み立てています。</p> <p>カリキュラムの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ベーシックカリキュラム エンターテインメントの業界で仕事をしていく上で必要となる基本的なスキルを学ぶためのカリキュラムです。各学科、コースごとに履修科目、履修期間が設定されています。 ●アドバンスカリキュラム 各学科、コースの分野について専門的なスキルを学び自分自身のパフォーマンスおよび制作能力を向上させていくためのカリキュラムです ●プロジェクトカリキュラム(制作・演習実践講座) プロの現場に近い環境での共同作業や実技披露を通して、コミュニケーション能力や実践力を養うためのカリキュラムです。全学科、コースの在校生が協力して、あらゆるメディアの制作を行っていきます。イベントやプロジェクトごとに役割に応じた設定があり、自分にあったステップで学ぶことができます。 ●特別科目 通常授業とは別に行われる科目群で、以下のものがあります。 ・特別講義、進級制作、業界研修、就職・進路対策プログラム、卒業制作 以上の組み合わせで、2年間のカリキュラムが構成されています。 <p>パフォーマンスアート学科には下記科目(声優・俳優、ヴォーカリスト、アイドル・タレント、ダンサー・パフォーマー、映像、ライブ・イベント制作、スーパーマネージメント、音響テクノロジー、総合エンターテインメント)クリエイティブ学科には下記科目(マンガ、イラスト・キャラクターデザイン、アニメーション3DCG、ゲームグラフィックス、企画・演出・シナリオ)を、カリキュラムの中で適正な位置付けで設置しています。</p>	<p>修学科目が、業界における人材ニーズに即したものであるかを随時検証し、科目の増設および編成をおこないました。2018年度には2学科4コース編成でありましたが、2019年度からは2学科15コース。そして、2020年度からは2学科14コースにて編成しています。</p>	3・2・1		
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか							
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか							
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか							
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか							
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか							
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか							
	3-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか							
	3-18 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか							
	3-18-2 資格取得の指導体制はあるか							

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりのご意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
4 教育 成果	4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	<p>本校では、就職希望者の全員就職を目指し、吉本興業グループを中心とする関連企業をはじめ、一人ひとりの学生の希望に応じた一般企業や所属企業への就職希望を実現できるよう求職者就職率、専門就職率の向上を図っています。また、吉本興業グループにおける各種会社説明会、合同オーディション、個別進路説明会、相談会を実施しています。</p> <p>個人希望を汲みながら、進路に応じた資格選考と提案を随時おこない、取得取得に関する指導を実施し取得率の向上に努めています。</p> <p>退学率の低減においては、一人一人の抱える問題点を把握するために定期的に個別の相談会を行い、履修したい内容に応じたカリキュラムの再編成や学生生活の改善に取り組んでいる。また、保護者との連携も重視し、三者面談を実施。家庭での様子や将来の意向、学外での社会的な活動や評価についても適宜把握をするようにしています。</p> <p>卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価については、各学生とのコンタクトや面談を定期的にとるようにし、レポートの提出や業界へのヒアリングを通じ、社会的な活動の実施状況、評価を把握するようにしています。また、グループ会社の吉本興業においても卒業生の活躍状況を共有するように、会議やレポートを共有できるような体制を組んでいます。</p>	<p>在学生がアイドルオーディションに合格し、全国デビューを果たすことができました。</p> <p>また、吉本の直営劇場を利用し、実際に観客を集めた演劇・ライブ公演の実施、吉本興業公式youtubeチャンネルでのライブ配信、劇場スペースを活用した制作発表会などを実施し、在学中からのデビューや、作品発表の環境を整備提供いたしました。</p> <p>資格取得率の向上策として、サーティファイ認定試験会場の認可申請をおこない、在学中からの資格検定対策により、学生が資格を取得しています。</p> <p>また留学生においては、日本語能力試験(JPLT)の対策授業を通年でおこない、合計11名が合格しました。</p> <p>卒業生が、卒業後も制作活動や、レッスンができるように学校施設・設備を毎日開放しています。</p>	3・2・1	
	4-20 資格取得率の向上が図られているか					
	4-21 退学率の低減が図られているか					
	4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか					
5 学生 支援	5-23 就職に関する体制は整備されているか	3	<p>学生の将来につながる成果を得ることができるよう、本校では学生への就職支援の環境整備を行っています。就職の担当を置き、学生との就職相談および各企業からの求人、およびデビューに向けた所属先との連携を図っています。</p> <p>学生相談に関する体制は、専門の窓口のみならず、インターネットを通じたチャットシステムなどを活用、どの職員に対しても気軽に相談を行える環境作りを行っています。</p> <p>経済的側面に対する支援としては、各生徒ごとの就学事情に対応できるよう相談窓口を設け、奨学金ならびに就学支援制度の案内および、学費については分納延納などに対応しうる制度を設けています。</p> <p>健康管理については、専任の学校医を任命し、学生の健康管理及び健康の維持を支援しています。</p> <p>課外活動については、事前に学校への申請を受領し、問題のない課外活動を行うように確認指導を行っています。また、適切に実施される課外活動においては、学校の授業などに連携させることで単位として認定できるようにもしています。</p> <p>学生の生活環境への支援は、学生寮はありませんが、独自に提携している不動産会社からの斡旋により、学生が安全かつ利用しやすい住環境の提供を心掛けています。</p> <p>保護者との連携は、定期的に三者面談を行うことで実施するようにしています。また学内外でのイベントや展覧会を定期的に行い、それらを参観することで学生の成果を保護者の方に確認いただけるようにしています。</p> <p>卒業後も本校の施設および吉本興業の各プロジェクトとの関わりを引き続き持ち続けられる「場」と「機会」を提供し、施設の利用や社会での活動を支援する体制を設けております。また、インターネットでのコミュニケーションシステムを通じて、各卒業生の状況についての把握にも努めるようにしています。</p>	<p>就職やデビューに関して、吉本興業グループが実施するエンタテインメントの現場を活用した実践授業を通じて「業界研修」の指導から、オーディション対策、個別相談、就職対策講座、就職支援セミナーを開催するなど、就職斡旋や業界デビューに関するあらゆる支援を行っています。</p> <p>また、漫画などのジャンルでは実際の漫画出版社とタイアップし、コンテストへの応募・受賞を経て、プロとして編集者が担当として行くなどの実績もできています。</p>	3・2・1	
	5-24 学生相談に関する体制は整備されているか					
	5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか					
	5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか					
	5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか					
	5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか					
	5-29 保護者と適切に連携しているか					
	5-30 卒業生への支援体制はあるか					
6 教育 環境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	<p>本校は、業界での即戦力人材となる事を前提として、各種機材・ソフト・プログラム及び施設に関しては、プロフェッショナルレベルのものを取り揃えています。また、それら機材を活用したイベント・ライブなどの本番制作ならびに、ソフト・機器を活用した作品展示会を定期的にも実施し、実際の業務レベルに相応の様々な状況に対応できるようにしています。</p> <p>学外実習、インターンシップなどに関しては、吉本興業グループと連携し、実際に社会で実施されているエンタテインメントの現場に赴き、実践的な修学ができるように教育体制を整備しています。</p> <p>防災に関しては、防災訓練を実施し、災害時に備え、AEDの設置、消防点検、避難所の確認などを行っています。</p>	<p>学内の設備や環境の利用のとどまらず、吉本興業の保有する劇場や、配信プラットフォームを活用し、学内だけでなく実社会に作品を発表することでリアルな反響を実感できるように環境を整備しています。</p> <p>また学外学習として、東京・大阪の劇場・テレビ局・CM撮影等での現場研修や、吉本興業関連会社での技術職インターンも実施いたしました。</p>	3・2・1	
	6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか					
	6-33 防災に対する体制は整備されているか					

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりのご意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	3	<p>本校は、沖縄県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集方法、募集案内を遵守するようにしています。</p> <p>各種メディア・媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して募集活動をおこなうとともに、学校告知を実施、教育内容および教育成果を正しく知ってもらうように努めています。</p> <p>入学選考においては、募集要項に明示し、「面接試験」を実施選考し、「入学選考会議」を行い適切に合格者を選考しています。</p> <p>学納金は、教材や諸経費の無駄な支出を都度見直し、チェックしています。授業料及び諸経費の提示を入学前の段階において学生募集要項などに明記し、基本的に追加徴収を行っていません。</p>	<p>実際の職業や進路に近いイメージをどれだけ明確に把握しているかが重要とされるため、入学前には学校見学会、体験授業やワークショップ、オープンキャンパスを多数実施し、職業の理解と疑問点の払しょくに努めております。また多彩な個性や環境をお持ちの学生の方々の受入れや修学カリキュラムにて対応できるよう、また保護者様につきましても個別の入学相談会などを開催し、その理解に努めるようにしています。</p> <p>海外からの学生としては、中国・台湾・香港・韓国・ネパール・ウズベキスタン・ロシアから留学生として入学しています。</p>	3・2・1	
	7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか					
	7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか					
	7-37 学納金は妥当なものとなっているか					
8 財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	<p>毎年、次年度事業計画書を作成し、その事業計画の中に5か年の収支予算を立てていますが、設立3年を経て、学生の定員に達していないことや設立時の初期費用が安定的な財務基盤を圧迫していることは事実です。財務状況についての把握や資金についての対応は、設立者である吉本興業グループと連携しながら、理事会、評議会を通じて進めるようにしています。</p> <p>財務については、所定の会計監査法人が監査を行っています。</p> <p>財務情報の公開は、学校のインターネットを利用し、ホームページより公開されています。</p>	<p>正確かつ実現可能な予算作成のために、一度作成した予算が現実のものとならなくなった場合には、それを修正すると同時に、理事会、評議会を開き、設立者である吉本興業グループと連携し、予算の再編成、資金の相談や支援を行うようにしています。</p> <p>4年目を迎えた今年では、月次で会議を行い、予算の達成状況や資金繰りの状況を確認し、問題があればすぐにチェックし、修正できる体制を作っています。現在では予算との乖離は少なく、資金繰りについても順調に運営できるようになってきている。</p>	3・2・1	
	8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか					
	8-40 「財務」について会計監査が適正に行われているか					
	8-41 財務情報公開の体制整備はできているか					
9 法令などの遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	<p>法令の遵守、コンプライアンスの遵守については、設立者である吉本興業グループ全体の方針として確立されており、教職員をはじめ、学生とともにその方針を理解し実行に努めています。</p> <p>個人情報に関しては、その保護に向けて所定のポリシーを策定し、その遵守に努めています。</p> <p>自己点検・自己評価の実施については、本校職員における自己評価委員を定め、その問題点を抽出し、改善するように努めています。</p> <p>また、その結果をインターネットを通じて学校のホームページより公開します。</p>	<p>学生に対するコンプライアンスの意識を高めるために年間を通じて、沖縄県警ならびに警察OBの職員による授業を実施しています。</p> <p>特に、反社会的勢力ならびに違法薬物との断絶啓発には力をいれ、パフォーマーやクリエイターとしてデビューするに際して支障なく活動できる知識を身に着けるように指導を行っています。</p> <p>また、学生が就職・インターンシップ・オーディション・所属事務所などを行う前には、吉本興業のコンプライアンスガイドラインに沿って、属性調査を事前におこなっています。</p>	3・2・1	
	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか					
	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか					
	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか					
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	<p>本校では、1階の公開スペースおよび2階のライブラリーを一般に公開し、地域の子供たちの居場所づくりに貢献しています。また、年間を通じて都度実施するイベントなどを通じて地域の方々へエンターテインメント体験を提供し、学生の積極的な参加を奨励し、地域の方々との交流およびボランティア活動のきっかけとして支援しています。</p>	<p>近隣小中学生向け、ネットリテラシー向上を目的とした、eスポーツイベント開催するなど、本校では教職員および学生たちが社会の要請により、県内外においてもエンターテインメントを提供し、地域や各コミュニティの活動促進に協力を行っています。</p>	3・2・1	
	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか					